

科目名	履修学年	単位数	教科書	副教材等
数学B	2	2	数研出版 新編 数学B	数研出版 新課程 3TRIAL 数学B

評価の観点	到達目標および評価の内容
a 知識・技能	数列、統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と社会生活の関わりについて認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
b 思考・判断・表現	離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力、確率分布や標本分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力、日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。
c 主体的に学習に取り組む態度	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。
評価の方法	
単元テスト、小テスト、課題等の提出状況、学習活動への取組などの総合評価となります。	

年間指導計画											
前期					後期						
月	予定 時数	学習内容	評価の観点			月	予定 時数	学習内容	評価の観点		
			a	b	c				a	b	c
4		第1章 数列				10		第2章 統計的な推測			
		第1節 数列						第1節 確率分布			
	3	1 数列と一般項	○		○	5	5	1 確率変数と確率分布	○		○
5	3	2 等差数列	○			11	5	2 確率変数の期待値と分散		○	
	3	3 等差数列の和		○		5	5	3 確率変数の和と積		○	
	3	4 等比数列	○			4	4	4 二項分布	○		○
	3	5 等比数列の和		○		12	4	5 正規分布		○	○
6		第2節 いろいろな数列						第2節 統計的な推測			
	4	1 和の記号 Σ	○			1	5	1 母集団と標本	○		○
7	4	2 階差数列		○		5	5	2 標本平均の分布		○	
	2	3 いろいろな数列の和		○		3	3	3 推定		○	○
8		第3節 漸化式と数学的帰納法				2	3	4 仮説検定			○
	4	1 漸化式	○	○							
9	2	2 数学的帰納法		○	○						
計 70											

※原則として一つの単元ですべての観点について評価するが、特に重点的に評価を行う観点について○をつけている。

履修上および学習上の留意事項

1 学年で学習をした数学 I、数学 A の継続的な内容になります。したがって、問題を考える際に既習事項が必要な場面も多く出てくるので、わからないものをわからないままにしておかないでください。また、数学という教科は単に計算が得意であれば良いというものではなく、物事を筋道立てて考えるということがとても大切です。その考えが他の教科や社会一般の中で役立つこともたくさんあるので、より一層論理的な考え方の修得を意識し学習に臨んでください。